

論文審査の結果の要旨及び担当者

報告番号	博（医）乙第 1797 号	氏名	黒木麗喜
論文審査担当者		主査教授	有吉 紅也
		副査教授	平山 壽哉
		副査教授	西田 教行
論文審査の結果の要旨			
<p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、近年カテーテル血流感染による菌血症の原因菌として報告されるようになった <i>Bacillus spp.</i> について、バイオフィーム産生能との関連を解明しようとしたもので、目的は十分に妥当である。</p>			
<p>2 研究手法に関する評価</p> <p>カテーテル血流感染を引き起こした 32 株の臨床分離株を対象に、パルスフィールド電気泳動 (PFGE) を行い、さらにマイクロタイターバイオフィームアッセイおよび走査型電子顕微鏡によりバイオフィーム産生能を評価したもので、研究手法も妥当である。</p>			
<p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、PFGE にて様々なタイプの <i>Bacillus spp.</i> がカテーテル感染を引き起こしていることを証明し、さらにこれら臨床分離株がバイオフィームを形成することを確認したことから、<i>Bacillus spp.</i> のバイオフィーム産生能がカテーテル感染に関与していることを示唆した。</p>			
<p>以上のように本論文は <i>Bacillus spp.</i> のカテーテル血流感染メカニズムの解明に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（医学）の学位に値するものと判断した。</p>			